

早蕨会月報
 毎月1回発行
 編集責任者 山本真弓
 豊橋市東雲町162
 TEL. 61-1268

老人の性と死

院長 山本 孝之

一、高齢者の性能力

若い人は、「老人には性欲がない」

とか、「老人が性的行動をするのはいやらしい」と、考えている人が多い

ようですが、老人の悩み事相談では、「セックスについて」が一番多い

のです。人間はいくつになっても、

異性を愛さずにはいられませんし、

又、異性から愛されたいと願うもの

です。そして、健康であれば、男女

とも八十歳を過ぎてても、満足なセッ

クスを営む能力があります。

性能力を老化させない最大の因子

は、性生活の習慣です。だから、年

をとつても性能力が老化せず、セッ

クスが精力的にできるようにするた

めには、青年期や中年期の性生活が

活発でなくてはなりません。

貝原益軒の養生訓による「接して

もらさず」は、明らかに誤りで、射

精頻度が多い者程、いつまでも若々

しく元気で、老衰しないのです。

二、性の効用

人間にとつては、男と女が一緒に

暮して、夫婦生活を営むのが、一番

正常な姿です。特に、経済的にも社

会的にも次々と失ってゆく老人にと

つては、男と女が、お互いに支え合

つて、一緒に暮してゆくことが、若

い時よりも、遙かに重要な意味を持

つてまいります。

老人にとつて、セックスは単なる

性的満足以上の効用があります。そ

れは、男性にはまだ男なのだ、そし



て女性にはメンスはなくともまだ女

なのだと言う満足感をもたらし、更

に、男女とも、まだ自分は異性から

求められ、必要とされていると言う

充実感を感じさせます。その上、お

互いに肉体的に寄り添っていること

の快い暖かさ、お互いに快感を分

かち合おうと努力することによつて

生ずる深い心の絆とがもたらされま

す。

死亡率も、男やもめは、同年齢の

夫婦者の二倍ですし、未亡人は一・六

倍です。このことは男女とも独身で

は、夫婦者より早く死ぬことを示し

て居り、更に一人暮らしの男と女の

死亡率の差は、男が女に比し、家事

能力が低いことによるものです。

精神障害の発生率でも、一生涯結

婚しなかった人が最も多く精神的に

障害を起こし、次いで離婚、死別、

或いは別居生活者に発生が多く、夫

婦一緒に暮している老人には、最も

発生率が低いのです。



目次

老人の性と死……………山本孝之 1~3

◆医学講座◆

心の老化……………山本孝之 3~5

薬の服用時間……………太田敏子 5~6

発語失行症の治療……………石井和子 6

貧血者の献立の考え方……………細井悦子 6~7

病院だより…………… 7

早蕨市民大学五月度日程…………… 7

家庭看護のポイント……………河辺光雄 8

源氏物語の女人達……………片山良子 9~10

◎症例研究会……………安形健郎 10~11

であいとふれあいの音楽会……………渡辺敏治 11~12

僕の音楽⑩……………杉本竜典 12~13

◆さわらび荘だより◆

桜トンネルでお花見…………… 13

創設三周年記念行事…………… 13

訪問看護……………大谷 房 13

◎処遇研究会……………川角卓央 14~15

追記……………山本孝之 15

野依福祉村建設資金寄付ご芳名…………… 16

さわらび日記…………… 16

五月美術案内…………… 16

三、老婚のすすめ

いくら年をとっても、男と女が夫婦として一緒に暮るのが、身心ともに元気で長生きする秘訣なのです。

ところが、残念ながら、日本は、世界で最も老人の結婚が少ない国です。六十五歳以上の独身老人が、七十五万人もいるのに、年間一人に一人位の割合でしか結婚いたしません。特に女子老人の結婚が、極端に低いのが目立ちます。

老婚を妨げているのは、一つには家族、特に子供の反対であり、もう一つは、日本の常識的道德による金しばりです。

子供が反対するのは、親が結婚すると、受け取る遺産が減ることと、親が再婚するのは、子供の養い方が悪いからだと言われられるのではないかと言う心配からなのです。従って、老親が結婚する場合には、事前に遺言状をつくるとか、財産分けをしなくてはならないと思います。現在日本の社会で、私達を規制し

ている性道徳は、「男女七歳にして席を同じうすべからず」と言う儒教思想と、「汝 欲情を抱きて女を見るべからず」と言うキリスト教思想と

が、明治時代に混り合ってきたものです。だから、私達は現在の社会情勢の変化によく適合した性道徳を、新たに作り出さなくてはならないと思います。

平均余命も延びて、子育てが終わってから、尚何十年も生きられる社会になって居るのに、未だに古い性道徳にしばられて、独身高齢者が淋しい、辛い生活を強いられるのは、馬鹿げたことです。

チェロ奏者パブロ・カザルスは、八十歳の時、二十歳の女性と、作家ヘンリー・ミラーは七十五歳の時、二十九歳の日本女性と結婚し、元気に活躍されました。高年齢者の皆さん、もっと積極的に結婚する意欲を持って、異性と交流を深める努力をして下さい。そして若い人も、老親の結婚が持つ意義を

正しく理解して、協力的に推進して下さい。

四、死の不安



五十歳を過ぎると、年とともに死の不安におびえる機会が多くなるものです。同級生が死ぬと、今度は自分の番ではないかと心配し、つれあいに亡くなられると、更に一層死を身近に感じるものです。

死の不安は、大きく分けて三つあります。

第一は、死ぬ時には、断末魔の苦しみを味あわなくては死ねないので、はないかと言うものです。そこで、楽に死にたいと言う安楽死願望が出てまいります。

然し、最近では医学が進歩しましたから、どんな痛みも、苦しきも、取り除くことができますので、亡くなられる方は、皆さん、眠るが如き大往生を遂げることができますから、ご心配なく。

次は、死ぬ前に長い間寝たきりの

状態となって、自分が苦しむだけではなく、まわりの人々にも大変迷惑をかけるのではないかと言う不安があります。そこで、ポックリ寺へせつせとお参りに行く老人が多いのです。

寝たきり老人の原因の大部分は、脳卒中とリュウマチですが、いずれも、なるべく早く正しいリハビリテーションを受ければ、寝たきりにはなりません。

最後に、現在元気に楽しく生きている私達が、いつかは必ず、この世の中から、永遠に消え去らなくてはならないと言うことに対する不安が残ります。

今、窓の外で我が世の春を謳歌し咲き誇っている桜も、いつかは必ず散ってゆくように、この世の中には永遠にいつまでも、そのまま、存在すると言うものは、何一つありません。たとえ、私達の目の前に、でんと存在している物でも、それはかりに一時的にそこにあるだけで、い

つかは必ず消え去ってゆくのです。私達にとっては、生きていくことが不確定で、死ぬことの方が確実なのです。「散る桜、のこる桜も散る桜」なのです。

もしかりに、私達が死ねないとしたら、どうでしょう。交通事故で頭がぶれて無くなっても、死ねないで、永久に生き続けなくてはならないとしたらどうでしょう。永遠に続く人生にうんざりするのではないでしょうか。

「散ればこそ、いとど桜はめでたけれ」です。

いつか必ず死ななくてはならないからこそ、今、生きていることに価値があるのです。

然も、今日は、過ぎ去ってしまったら、永遠に返って来ない、たった一回きりの今日なのです。明日死ぬかもしれない私達にとっては、たった一回きりのかけがえのない今日という日を大切に、今なすべきことに最善を尽くして生きる努力をこそ、

すべきだと思えます。

一日も無駄にすることなく、今日と言う日を大切に、全力を傾けて生きる日々を重ねてゆけば、いつ何時死が訪れても、慌てることなく、収容として死を迎えることができるはずです。

ところが、ご老人を見て居りますと、今までに余りにも多くの今日を迎え、そして見送ったためでしょうか、何の感動もなく朝を迎え、そして、ぼう然としてなすことなく夜を迎え、全く一日を無駄に屑籠へ捨てるような生き方をしているらしい方が多いようです。然し、これはいけないと思います。

この世の中にたった一人しかいない自分を、そしてたった一度しか生きられない人生を、本当に生かさなかつたなら、私達に生命を与えて下さった方に申し訳ないと思えます。私達に生命を与えて下さった方のご恩に報いるためにも、私達は生命ある限り、生きていることが確実な

今日を、いつも全力を尽くして生き抜き、そして少しでも与えられた才能を伸ばすように努力をする日々を重ねてゆくことによって、いつお迎えが来ても、収容と死を受け入れられるようにしたいものです。

医学講座



心の老化

院長 山本 孝之

全く生物学的立場から言えば、生殖能力を失った年代の者は、その種にとつては、無用の存在です。

老化して生殖不能となった個体を多く抱える種属は、生殖を終えるとともに死ぬと言う利点を持った種属との間の生存競争には勝てません。

事実、生殖能力が無くなっても、尚生存し続ける生物は、人間とその保護下にある家畜だけです。

「はじめに言葉あり、言葉は神なりき」でして、言葉と言うものを発明した人間は、生活体験を知的に保存し、その知識を言葉によって、他

に伝えることができるようになりましたので、知識と経験が豊富で、而も総合的な判断力の優れた老人の生き続けることが、人間にとって意義のあるものとなったのです。

歴史的にみましても、老人を大切にした社会は、最も偉大な成功をおさめてまいりました。

心の老化現象をよく理解することによって、若い人は、老人の豊かな経験や総合的な判断力を活用し、また、老人が自己実現しやすいように、老人の生活を支援してゆくべきです。老人自身は、老化によるプラス面を充分活用して、老化によるマイナス面をできるだけカバーするようすべきだと考えます。



一、知能

老化現象は、心身とも個人差が大きく、一概には言えませんが、知能指数の上では、二十五歳頃が最高で、その後は徐々に低下いたします。然し、すべての面が一様に低下するの

ではなく、六十五歳位までは一般知能の低下は認められません。

仕事への適応度でも、鑄鍛造のよ
うな重労働の部門では、三十歳から
四十九歳までが最高ですが、機械加
工や機械組み立ての分野では、寧ろ
年とともに適応度が上昇し、六十歳
以上が最高となって居ります。これ
は年をとって肉体的な能力は低下し
てきても、長い間につちかわれた経
験や判断力が、それを充分補ってい
るからです。

①プラス面

判断力

多くの知識や経験の積み重ねに加
えて、冷静でバランスのとれた考え
方をするので、総合的な判断力や洞
察力では、寧ろ年をとってからの方
がよくなります。特に、政治家、法
律家、歴史学者等は、六十歳代に入
って、頂点に達することが多いよう
です。

言葉の理解や常識的徳徳の面でも、
若い時より、よくなります。

②マイナス面

記憶力

昔のことは憶えているのに、最近
のことを憶え込むことが難しくなり
ます。ひどくなると、ほんの少し前
のことまで忘れて、食べ終って五分
もすると、食事をしなかったから、食
べたいと言ひ出すことがあります。
学習能力も低下しますので、新し
いことを身につけるのが難しくなり
ます。

作業速度

ゆっくりと働けばよいけれども、
急がせると、仕事のまちがいが多く
なり、而もイライラしてまいります。

計算力

特に暗算が苦手になります。二桁
同士の足し算、引き算が、暗算でで
きれば、まあ正常です。二桁と一桁
の足し算、引き算しかできないよう
では、やや老化が進んで居り、一桁
同士の暗算も、不確実ならこれは寧
ろ痴呆と言うべきです。

二、感情

思春期から青年期にかけて、最も

感情の起伏が大きく、三十歳から五
十歳頃が最も感情は安定して居りま
す。然し、五十五歳を過ぎますと、
次第に不安定になってまいります。

心身相関著明

「病は気から」と申しますが、人
間の心と体は、密接な関係があり、
怒ると血圧が上がり、イライラや悲
しみは、胃潰瘍を起します。

心と体の関係は、年をとるととも
に、一層密接になり、老人病の大部
分は、不快な感情によって惹き起さ
れると言っても過言ではございませ
ん。

不快な感情は、発病させるだけで
なく、病気の軽快を妨げ、更には病
気を悪化させます。

また老人では、体の病気が、精神
障害を屢々起してまいります。

良い感情は最良の薬でして、明る
く朗らかにニコニコ笑って生きるの
は、あらゆる病気の予防に役立ちま

興奮性低下

若い人のように、心の底から感動
することが少なくなり、打てば響く
ような生き生きした所が少なくなり
ます。よく言えば冷静、悪く言えば
鈍感になります。

統制力低下

感情を統制する力が少なくなるの
で、些細なことで怒ったり、涙を流
したりいたします。

感情移入の低下

他人の感情が充分解らなくなるの
で、他人の感情を無視したような行
動が多くなります。

三、性格

①プラス面

義理がたく、親切で、よく他人の
世話をします。

また流行を追わず、枝葉末節にと
らわれずに、物事の本質を掴もうと
いたします。

②マイナス面



活動欲低下

生き甲斐を持って生きようとする意欲が少なくなり、一日中ぼんやりと坐っていることが多くなります。

保守性

新しいものは食わず嫌いで、昔のままがよいと思うようになります。

自己中心的

年とともに幅が狭くなり、自分の意見に固執し、他人の考え方が理解できにくくなり、そして、我がままで頑固になります。

依存性

身体的にも、経済的にも、力がなくなるにつれ、他人によりかかり、他人に助けてもらいたいと思うようになります。そこで、責任を持つことを重荷と感ずるようになります。

猜疑心

視力や聴力が衰えることもあって、周りの人とのコミュニケーションが充分できず、疑い深く、嫉妬深くなります。

その他、愚痴っぽくなり、ひがみ

っぽくなり、厚かましく、ケチンボになってきます。

薬の服用時間

薬剤師 太田 敏子



用いた薬の効果を最大にし、副作用を最少にするためには、服用時間を考慮しなければなりません。

内服薬の場合、一般に一日三回服用とし、食事を基準として決めていきますが、これは一つには飲み忘れを防ぐことにも関係しています。

内服した薬は消化管を通りますが、消化管の状態によって薬の化学変化、移行速度、吸収の程度、消化管への刺激などが変化します。食後と空腹時とで異なるだけでなく、食物の質にも影響されます。

吸収の面からみますと、空腹時に服用した場合には、胃から腸への移行が早く、小腸からの吸収が速やかになるのに対し、食後では逆に胃に滞留する時間が長くなり、吸収はゆっくり持続的に行われます。

また、食後に服用した場合には、薬の胃粘膜に対する刺激が緩和されるため、胃障害が少なくなるという利点があります。

食前に服用した方がよい薬には、胃液の分泌を高めるもの（健胃散）、あるいは抑えるもの（副交感神経刺激薬）、胃液の代用に用いるもの（塩酸リモナトゼ）などがあります。また血糖降下剤は食後高くなる血糖値を抑えるために、冠血管拡張剤は狭心症の発作が食後に起こることが多いため食前に用います。

食後に服用する薬は、胃粘膜を刺激し胃障害をおこす恐れのあるもの（解熱鎮痛剤、鉄剤）、食欲を低下させやすいもの（尿路防腐剤）、胃内での消化を助けるもの（消化酵素剤）などがあります。

食間（空腹時、食後約二時間）服用する薬には、制酸剤、消化性潰瘍治療剤、鎮咳剤、鎮静剤などがあります。特に消化性潰瘍治療剤のなかには、食後に服用すると食物中の成

分と反応して薬効のなくなるものがあります。（抗ペプシン剤）

鎮痛剤、催眠薬は頓服（一日一回）として用い、乗物酔いの予防薬は乗車の三十分前に用いるほうが効果的です。下剤は急速に効果を求める必要がある場合と、連用させる場合とでは服用時間も異なります。

一定時間間隔をあげて用いる薬に抗生物質、化学療法剤があります。これは、有効な血中濃度を維持するため、服用時間を忠実に守る必要があります。

高血圧などに用いるサイアザイド剤は、一日二回朝食服用ですが、これは夕食後に服用すると利尿効果が深夜に生じ、睡眠が防げられるからです。また、精神賦活剤、抗うつ剤は不眠をきたしやすいので、午後三時以降は飲まないことです。副腎皮質ホルモンは一日一回の時は、朝、二回るときは朝食服用、これは正常のホルモン分泌が朝にみられるので、そのリズムに合わせるためです。

以上のように、薬の服用時間は与えられた指示に従って、正しく守ってほしいものです。

へ症例①発語失行症の治療



言語治療士 石井 和子

Y・Mさんは、現在六十六歳。六年前に脳血栓で倒られて以来、右片麻痺と言語障害があります。

本院に入院されたのは、昭和五十四年十月三十一日。失語症標準検査と発声発語筋の機能検査を行ったところ、「聴いて理解すること」に異常はありませんでした。「読んで理解すること」は、漢字は問題がないのですが、仮名文字が障害され、「話すこと」は全くできずに、復唱（検者が言ったことを真似して言うこと）も困難でした。話をうとすると、「シュル、シュル、フー」などといった音が時々出るだけという状態でした。また、舌や口唇などは麻痺がないにもかかわらず、意図的に動かすことはできませんでした。

これらの症状から「発語失行症を伴う運動性失語症」であると診断しました。

訓練は、まず、舌や口唇などを意図的に動かせるようにするために、

他動的に動かせてやることから始めました。これができるようになってから、声を出す練習に入りましたが、始めのうちには、指示した音と全く違う音が出るために、口唇の形や舌を正しい位置に矯正しました。これは母音から始めて、両唇音(m・b・p)へ進むとやり易いと思われました。

次は、両唇音と母音からなる二音節の単語（漢字で表記できるもの）の復唱に進みました。一音ずつの模倣をしてから、結び付けるという方法をとりました。この訓練を始めた頃は、二十〜三十回刺激を与えないと模倣できませんでしたが、現在では、刺激一回で言うことができるようになってきました。書字訓練も伴って行いました。漢字が若干書けるため、漢字と平仮名

を同時に書き、読むという訓練と「あいうえお」等と、系列的に書く訓練を行いました。現在では、書かれた漢字に読み仮名を付けるという訓練に進んでいます。

この症例のように、障害を受けてから訓練を行うまでに長い年月が過ぎていくということと、年齢が六十歳以上ではあまり治療効果がないと言われているという、治療の中の負の条件がそろっているにもかかわらず、症例に適する訓練を、ゆつくりと気長に行うことは、ある程度までの言語機能の回復が期待できるという実例であると思えます。

貧血者の献立の考え方

給食課長 細井 悦子



一、治療の目的にかなった栄養量の確保。
二、嗜好、食習慣を考慮します。食糧構成は一日の食事の目安となりますが、その人の今までの食習慣や嗜好を考慮し、無理なく許される範

囲で、多くの食品をとり入れます。

三、経済面を考慮。
四、季節の食品を利用します。高たんぱく食であっても、そればかりにとらわれずに、野菜などバランスのとれた食事に気を配ります。

五、レバーをおいしく食べられる工夫。貧血レバーというように、皆さんご存知だと思いますが、どうしても食べられない方は、上等の牛肉等で代替してもよいでしょう。

レバーを使った料理法

一、レバーには、独得の臭味があります。まず、料理にはこのくさみをぬくと食べやすいと思えます。

①好みの大きさに切ったら、水道の水で血抜きをします。②生姜のおろしたものと一緒に強火でサツと蒸します。又、牛乳に浸しておいても良いでしょう。③玉葱、パセリ、セロリなど香りの強い食品と一緒に調理をしても良いと思います。
二、レバーは特に新鮮なものを用い料理法も変化をもたせます。

老人の貧血者のための献立例

	献立	材 料	数量g	熱量cal	蛋白質g	脂質g	鉄mg	
朝 食	か	精 白 米	50	176	3.1	0.4	0.2	
	味 噌 汁	味 噌	15	27	1.5	0.2	0.5	
		あ さ	50	31	5.3	0.7	4.0	
	小松菜とレバーのソテー	小 松 菜	50	10	1.1	0.1	1.6	
		豚 レ ー	40	42	7.8	1.7	7.2	
		サ ラ ダ 油	2	18	0	2.0	0	
	煮 豆	う ず ら 豆	20	65	4.0	0.4	1.2	
		砂 糖	8	32	0	0	0	
		高 野 豆 腐	10	44	5.3	2.6	0.9	
		人 参	20	10	0.3	0	0.1	
昼 食	バターロール	し ょ う ゆ	3	1	0.2	0	0.1	
	カキのチャウダー	パ タ ー	100	270	8.0	1.5	1.0	
		カ キ	50	48	5.0	1.4	4.0	
		人 参	10	5	0.2	0	0.1	
		玉 葱	30	12	0.4	0.1	0.2	
		え ん ど う	5	2	0.2	0	0.1	
		マッシュルーム	5	—	0.2	0	0.1	
		小 麦 粉	5	18	0.4	0.1	0.1	
		スキムミルク	20	72	7.0	0.2	0.2	
		マーガリン	5	36	0	4.1	0	
食	かぶとレモンのごま酢	か ぶ	30	8	0.5	0	0.1	
		レ モ ン	10	3	0.1	0.1	0	
		ご ま 酢	5	28	1.0	2.5	0.8	
		砂 糖	4	16	0	0	0	
	ひじき炒煮	ひ じ き	4	—	0.2	0	1.2	
		フ レ ー ク	20	23	4.9	0.2	0.4	
		人 参	5	3	0.1	0	0.1	
		サ ラ ダ 油	2	18	0	2	0	
	夕 食	御 飯	精 白 米	60	211	3.7	0.5	0.2
		好 き 焼	牛 肉	60	88	12.6	3.7	2.2
		ホ ー レ ン ソ ー	20	6	0.6	0.1	0.7	
		人 参	10	5	0.2	0	0.1	
		葱	5	5	1.3	0.1	0.1	
		白 菜	30	5	0.4	0	0.2	
		板 か ま ぼ こ	10	8	1.3	0.1	0.1	
		糸 こ ん に ゃ く	5	—	—	—	—	
		焼 豆 腐	10	8	0.9	0.5	0.2	
		え の き	5	—	0.1	0.1	0.5	
食	生 じ ょ う ゆ	生 じ ょ う ゆ	5	—	0.1	0	0	
		酒	3	1	0.2	0	0.1	
		砂 糖	4	16	0	0	0	
		玉 子	60	78	6.4	5.6	1.3	
	大根おろしの粉かけ	大 根	40	10	0.4	0	0.1	
		青 の り 粉	—	—	—	—	—	
	漬 物	キ ュ ー リ	30	3	0.2	0	0.1	
	合 計			1462	85.2	31.0	30.2	

(φ 微量)

☆レバーペースト⇨レバーを血抜きしてから蒸し、ミキサーで練り洋からし少々、ケチャップ、塩コショウをして調味をします。朝のパン食の時に利用します。

☆豚レバーの香味揚げ①下処理後、酒、しょうゆに五〜六分つけておきます。②ピーナツをみじん切り、胡麻をひいて混ぜ合わせます。③レバーの水気を拭きとり、小麦粉、卵、②の順につけて、中温の油で揚げます。

☆レバーの佃煮①レバー下処理後、酒、しょうゆ、砂糖、土生姜を煮たところ、レバーを入れ、汁がなくなるまで煮つめ、最後にみりんを入れます。

☆豚肉とレバーカツの野菜ソースかけ①豚肉、レバーに塩コショウをふり、小麦粉、パン粉をつけて揚げます。②玉葱は薄切りにし、干ししいたけは戻して千切りにし、ピーマンも千切りにして炒め、ケチャップソースを入れ調味し①にかけます。

へ病院だより

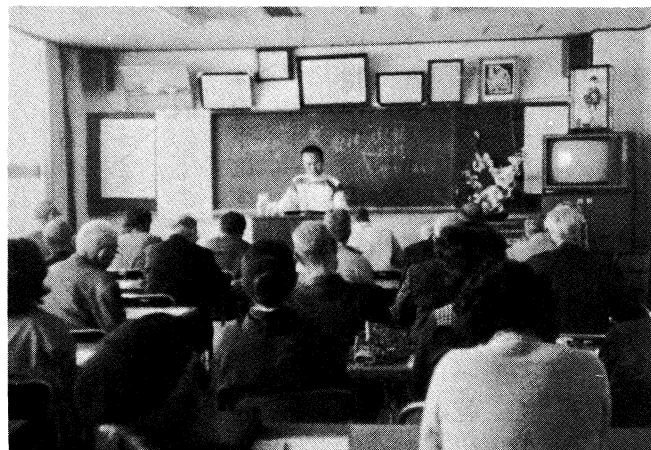
四月五日、病院近くの公園で、患者さんのお花見を行い、約五十名の方が参加されました。

穏やかな暖かい、絶好の花見日和で、久しぶりに外出する患者さん達は、前日から「早く行きたい」と職員を追い立てる程、楽しみに待ってみえました。

公園では、老人学校講師の杉本先生をお呼びして、満開の桜の木の下



春の陽を浴び、満開の桜に患者さんは大喜び＝近くの公園で



早蕨市民大学の講義風景＝山本病院3階会議室で

で楽団演奏。毎週、院内で練習してはいますが、一味違った気分でのびのびと大きな声で空に向かって歌うなど春を満喫いたしました。

早蕨市民大学五月度日程

- 1日 医学講座(呆け) 山本孝之
- 8日 野外教育 “湖西の自然を訪ねて” 恒川敏雄
- 15日 時事解説(2) 大森 修
- 21日 心理学(2) 生田博之
- 29日 中近東の歴史と文化 鈴木中正

家庭看護のポイント

頭髮の手入れ

さわらび介護婦会事務長 河辺 光雄

一、洗髪できない場合

あまり汚れていない時は、熱湯で固くしぼったタオルで、頭皮から毛先にかけて拭き、くし、又はブラシで整えます。かゆみがあったり、汚れの目立つ時は、熱湯の中にヘアトニックをたらしたり、消毒用アルコールを入れて、同じようにするか、又は直接ヘアトニックを脱脂綿がガーゼにしみこませ、毛を少しずつ分け取り、地肌をマッサージするとよいでしょう。

ふけの多い時は、ヘアトニックと同じように、オリーブ油を使うとよいです。

二、寝たまま洗髪する方法

畳の上で臥床している場合には、頭が布団からはみ出る位置まで体の上にずり上げます。枕をはずして、敷き布団の上部をビニール布でおお

い、その上にバスタオルをかけます。肩から胸にかけても、ビニール布でおおいます。ずれないように、安全ピンで二カ所とめるとよいでしょう。



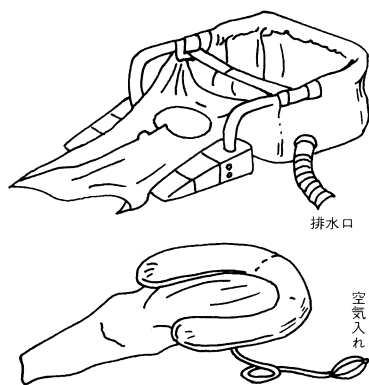
バスタオルビニール

ケリーパードのふくらんでいる部分を首の下に入れますが、いよいよ洗い始める直前に、毛布を細長くたたんだものを肩の下に当る部分の敷き布団の下に、横長に入れると、頭が低くなりますので、失敗しません。ただ、この姿勢を長時間つづけると疲れますので、注意します。

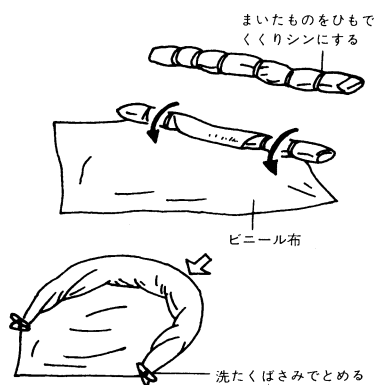
初心者の場合には、二人がかりで洗うとよいと思います。一人が頭を支え、洗い、もう一人が湯をかけるのです。病人が自分で頭をもち上げなくても済むように、しっかりと支えます。

病人に目を閉じさせ、頭ふき用のタオルで顔をおおいます。そして、

最初は毛髪を少しの湯でしめらせ、シャンプーを地肌にすりこむようにしながら、毛先までよく洗います。この時、絶対に頭皮に爪をたてないように、指先の腹を使ってマッサージするようにします。毛髪と頭皮に石けん分がなくなるまで、お湯をかけて洗います。途中で洗面器を取り換えなければなりません。よくすすぎ終えたら、好みにより、リンスを



市販のケリーパード



自家製のケリーパード

して、もう一度ゆすぎます。顔をおおっていたタオルで、ぬれた部分を拭き、ケリーパードをはずして、肩の下のバスタオルで頭を包み、体を下にずらして、元の位置に直し、もう一枚のバスタオルを頭の下に敷いて、毛髪を包んでいたバスタオルをとぎ、よく拭きます。

ヘアドライヤーで短時間で乾かした方が疲れないし、カゼをひく心配もありません。乾燥したら、ブラシを整え、後始末をします。



ビニール

ベッドの上で行う場合は、体を斜めに移動して、バケツを下におきます。方法は畳の上と同じです。

★寝たままの洗髪に用意するもの

ケリーパード、バケツ、大洗面器、バスタオル二枚、顔ふき用タオル、ビニール布、ヘアブラシ、シャンプー、ヘアドライヤー。

源氏物語の女人達

——その社会的背景——

塾講師 片山 良子



源氏物語を語る上でまっ先に挙げられるのは当代の色をとこ、光源氏であることは疑うべくもないが、彼をとり巻く華やかな女人達がこの物語を樂しみ味わう花であります。

紫式部という宮延の一女房によって描かれた一大浪漫は、筆者が同じ女性であるという線によって、より鮮やかに女人達の心の襞の一枚一枚を露呈してくれます。

これらの女人達を紹介する前に、この時代の美人の標準といったものに触れてみたい。絵巻物に描かれた男女はいずれも引目鉤鼻、いわゆる下ぶくれのお多福のような顔です。装束を重ね、頬の両端に垂らした長い髪、下端と呼ばれる髪形は下ぶくれでないと似合わないようです。当時の建築構造、寝殿作りは軒の低い、薄暗い部屋、あまり陽の入らないほ

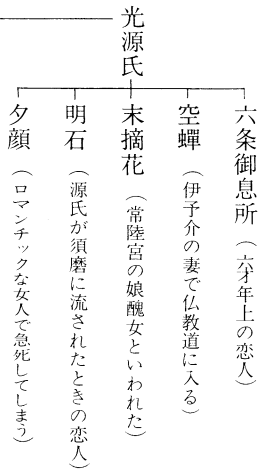
の暗い部屋にあっては、丸顔の白い形がよりうつりがいい、つまり印象的なのです。あの長い髪の間から、白粉で塗りこめられた白い顔が、それこそ最大級の美として迎え入れられたのです。当時の美意識が曲線的であった事からも、美人は丸顔でなければなりません。直線的に物事を進めることを嫌った貴族社会は、美の規準をもまあるく見ていたに違ありません。

平安朝の男たちは未だ見ぬ恋にあこがれ、夜目遠目笠の内といった錯覚の恋にあこがれていました。そのあこがれの対象であった女人がたとえ醜女であっても、その姿をはつきりみることはなく、歌がうまければ、ただそれだけで間違いのない美人といえましよう。顔、姿の美醜はそれほど問題でなく、その女人がいかに上手く美の世界を創造できるか、いかに長い髪を美しく保つかにかかっていたようです。たとえ無能で姿もそれほどでもないお姫さまでも、才

能ある女房達がびっしりと従えていれば、充分に賢女になり得た所にこの時代の恋愛の面白さをみる事が出来ましよう。

当時の美意識が曲線的であったことは、古今集という歌集を読めばはつきりするが、優美華麗といった言葉の裏に、貴族社会の現実遊離をみるのです。一般庶民にとって曲線も直線も無関係に通る過ぎたし、美の世界に酔うことの出来た男女はほんの一握りの上流貴族でしかなかったのです。

◎源氏をめぐる主な女人達



- 1、葵の上（親友頭の中將の姉）
- 2、紫の上（子供の時から引きとって育てた源氏最愛の妻）
- 3、女三の宮（兄上皇の娘 朱雀院）

源氏物語に登場する女人達はそれぞれに個性的で四季の花々のようですが、文学という虚構を作ることで、女たちを描きたかったに違いありません。

さて、いよいよここに咲き誇る花々、女人達について述べてみましょう。

源氏物語を読み進めて行く内にふと思ひあたるのは、というより「変だな」と感じるのは、怨霊とか物の怪といった言葉があちこちに出て来ることです。中でも六条御息所が紫の上にとりつく場面です。彼女の生霊が正妻である紫の上のりうつる——というのは、今の感覚では考えられないし、単に嫉妬という感情でもありません。迷信的なものが支配的であったその辺の当時の人間の感情を理解しないと異様でしかありません。六条御息所が源氏の恋人であったとすれば夕顔や空蟬は浮気の相手と言えましよう。

紫の上、女三の宮、葵の上が源氏

の正妻であり、正統派の美人、あまり個性のないできた女に対し、恋愛の相手は激しい感情の持ち主の魅力的な女人たちです。いつでも逢える女人より不倫の相手の方がより燃焼するのは現代でも同じことでしょう。

しかし、当時の社会構造を考えると、これは全く性道德の乱れでもないでもないあたり前の通念でした。

一人の男性を頂点とする女たちのピラミッド構造は嚴重な身分制度によって秩序が保たれ、当然起る嫉妬の感情もこの枠を越えることはないのです。嫉妬は私達人間の持つ本性であつても、時代時代の社会的通念に支配されるものです。時代の基準に従わない人間は悪であり、反モラルであるのだから、源氏に何人の恋人があろうと非難されないのはここに

あります。多くの女人達を同じ線上に置くことはなかったし、互いの領分を犯すこともなかったようです。

源氏物語の女人達はそれでも精一杯自分の領分の中で源氏を愛し、源

氏を頼りとした、そのことに同じ女として、とてもいじらしくあはれに思えてなりません。

物怨じの女、はかなき女、かしこき女、と並べながらこの「もののはれ」の情趣が一貫して流れる虚構に、往時の女人達の呻きや泣き声やささやきがきこえるようです。

症例研究会

「痴呆老人」



ケースワーカー 安形 健郎

患者 Sさんは、今年七十六歳になる男性、九州熊本県の生まれで、五人兄弟の四男。小学校卒業した後、〇〇電機に就職、十九年間勤めた後昭和十三年、浜松市へ移り、機械修理工場を始めました。二十年、戦災にて工場が焼けた為、形原、岡崎へと移り、二十四年、岡崎にて再度工場設立。現在は、息子さんの代になっていきます。

結婚は二十五歳の時、子供は四男

三女できました。Sさんは、七十三歳まで働き、特に昭和三十七年より四十八年にかけては、岡崎市の交通安全指導員として、毎日道路に立ち、二十六回も感謝状を受けました。退職後は特にやることもなく、この時期脳血栓で倒れたことも重なり、痴呆が進んだもようです。

病前性格としては、真面目、几帳面、頑固、きれい好き、地味。趣味は、音楽が好きで、若い頃はバイオリンを弾いたり、野球をしました。又、手先が非常に器用で、ちよつとした修理などは得意でした。

本院へは、昭和五十五年三月三十一日入院。当日は、終始興奮し、部屋から出ようとして暴れる為、おさめるのに苦労しました。二日目もやはり、興奮状態が続き、ベッド上を動き回っては降りようとする仕草を見せ、職員が目を離れたすきに、廊下へ出て行き、連れ戻されていきます。

三日目には、やや体力を回復し、

つかまらなくても歩行ができるようになりました。この日からカセットに録音したバイオリン曲を聞かせたり、面接、知能スケール測定をしております。一日中、病院内を徘徊しています。

入院八日目より、絵を描くことを始めました。又、字を書くことにも興味を示す為、漢字の書き取り等も行っています。集中時間は、十五分から二十五分で、日によって違いはありますが、少しずつ長くなっているようです。

〔問題点〕

一、痴呆の為、コミュニケーションが困難であるということ、他人と共同の行動がとれず、又、自分のものと他人のものとの区別がつきません。
二、排泄―部屋からトイレへは、行くこともあるのですが、徘徊中、夜間、目覚めた時などは、トイレの場所がわからず、階段や、部屋の中ですすまうこともあります。

三、徘徊―外へ出て行く恐れがあ

ります。

〔目 標〕

- 一、本人がみせる行動、攻撃的態度等、症状をよく観察すること。
- 二、日課に従った生活指導の強化。
- 三、痴呆の改善―家庭復帰。

〔今後の方針〕

- 一、運動療法―昼間充分に運動させ、夜間、眠るように持つて行くことと、できるだけ自由に院内を徘徊させる。
- 二、精神療法―絵、音楽、手先の器用さを生かした軽作業等を実施。
- 三、看護者が患者さんの状態を受容し、他の患者さんとの間にトラブルが起こらないように注意する。部屋の場所、トイレなど、くり返し指導する。

- 四、家族を含めた治療体制の確立。
- 症例研究会にも、ご家族に出席していただき、病気の理解を深めるとともに、病院側と協力して、治療体制を組めるようにした。



であいとふれあいの音楽会

渡辺 敏治



一昨年（五十三年）の二月はじめ頃、S百貨店で身体障害者の作品展覧会が催されているというので、出かけてみました。

両手切断、小児麻痺など、手の不自由な人が、大きな困難を克服して、立派な書や絵や人形等を作りあげていたのを見て、非常に感服しました。

所が、人もまばらで殆ど通り過ぎて行く所がありました。近づいて見ると、聾学校（聴覚障害者）の作品が展示してある場所なのです。版画や水彩画が主に展示されていたと思いますが、皆、素直なよい作品であると思われるのに、余り目立ってはいませんでした。

しかし、見る人がなぜこんなに少ないのだろうかと考えていましたが、フト思い当ることがありました。外見上は健康者と変わる所がないので、一般の関心がうすいのではないかと

いうことです。

作品が素直で好感がもてることと見る人が少ないことに多少の反発も感じたので、管理者を通じて学校の先生に申し込み、版画一点を分けてもらいました。

その後、さらに四点を分けてもらい、この中の四点を少しでも多くの人にってもらおうと、国立病院にかけってもらう為、院長先生に頼み、早速、額に入れて持つて行きましたところ、非常に好意をもって、それぞれよい場所にかけてくれました。

半年以上もたち、正月になって、突然聾学校の子供さん達から年賀状をもらい、それから一度もあつたことのない子供さん達との文通が始まり、私は手紙を書く楽しみと、もう楽しみに思いがけない老後の喜びを味っていました。

それから、半年ほどたった夏のはじめのある日、国立病院行きのバスに乗ったところ、近くの席に座っていた女子高校生が、そつと席を譲っ

てくれました。

私はびっくりしました。何故なら、このバスは次のバス停などを知らせる合間合間に、「お年寄りにはどうぞ席をお譲り下さい」とアナウンスしています。私は老人クラブに入ってから十年にもなるのに、バスでも電車でも、一度も席を譲ってくれぬ人がなかったからです。

私は一礼して腰をかけたのですが、二人がけの所だったので、窓ぎわによつて席をあげ、「どうぞ」と言いました。しかし、その学生さんは、前方を見たままで答えないので、少しぶしつけだとは思いましたが、袖を引っ張つてもう一度「どうぞ」と言いましたら、軽く会釈をして、かばんだけをおきました。「ハテナ」と思っているうちに、聾学校の近くのバス停で、同じようなセーラー服の子二〜三人と一緒に降りて行きました。

二、三日後、さきの絵のことで、知り合いになった白井先生に電話を

して、このことをお話ししましたら、「ひよっとすると、大須賀さんかも知れない」と言われ、それから間もなく先生から、「やはり大須賀由記子さんでした」とお電話がありました。大須賀さんとは、私の文通している高校生なのです。

あまりの偶然に驚きながらも、うれしくなって、早速御礼の手紙と、一冊の本を送りました。いつもならすぐ返事がくるのに、半月ほどたっても返事がないので、どうしたのかなと思っていましたら、白井先生から電話があり、「病院に行ったら、帰りに学校へよってくれるように」とのことでした。

二、三日後、病院の帰りにお訪ねしたところ、先生は大須賀さんをつけて玄関に出てこれられ、私に紹介してくれました。

「この間は、ありがとう」と思わず大声でお礼を言いましたら、彼女はニコリ笑って頭を下げ、大きな包みを私にくれました。

先生のお話によると、学期末で忙しい中を、私のために浴衣をぬってくれたとのこと。一瞬、私は胸の中が熱くなり、「ありがとう」と言うのが精一杯で、逃げるように家に帰り、包みを開けて見ましたら、手縫いの立派な浴衣と、忙しくて返事が書けなかったという詫びの手紙が入っていました。

それから文通が続き、彼女は詩が好きで、彼女も作っていることがわかったので、送ってくれるように頼んだところ、しばらくたって一篇の詩が届けられました。

この「夏の終りに降る雨」と題された詩を、田辺先生にお目にかけて、今までのいきさつをお話して、作曲をお願いしたところ、先生も感激されて、立派な混声四部合唱曲を作つて下さったので、早速、学校に行つて、白井先生と本人の大須賀さんに楽譜をお渡ししたら、とても喜んでくれました。

話は変わりますが、私が絵をもら

った子供さんの中に、小学六年生の小林俊介君がいます。ある日、お母さんと一緒に、小林君が私の家をわざわざ訪ねてくれました。本人とはもちろん筆談でした。彼が言うには「おじいさん、絵をもらってくれてありがとう。僕の絵が沢山の友達に喜んでもらえていることを知って、とてもうれしい」と言うことでした。

お母さんといろいろ話をしていて、私は小林君に「オルガンを弾いてみる？」と勧めました。彼は大変興味深げにオルガンを弾きはじめました。そして、不自由な聴覚ながら熱心に音を楽しもうとしている姿を見て、私はハッと思ったのです。「この子達にこそ音楽が必要なのだ！」

「この子達にも音楽を聴かせてやりたい」「音楽会に行かせてやりたい」と。近いうちに田辺先生のお骨折りで、大須賀さんの曲も含めて、音楽会が催されることになりましたので、期待している次第です。

話は変わりますが、私が絵をもら

〈僕の音楽 ⑪〉

老人学校講師 杉本 竜典

音楽関係年表

大正十三年〜昭和五年。小学校のハーモニカバンドに在籍。五年生でコンサートマスター、六年生でコンサート。

昭和五年〜同十一年。中学校（旧制）音楽部に在籍。ヴァイオリンを担当。五年生でコンサートマスター、六年生でコンダクター。

昭和十一年三月。小学校音楽専科正教員の国家検定試験に合格。

昭和十六年一月〜同二十年八月。関東軍酒保（在満州新京）楽団を育成、楽長。

昭和二十一年七月〜同三十二年十月。杉本音楽研究会（個人教授の会）会長。

昭和二十三年四月〜同三十二年十月。杉本楽団（楽団パラダイス、セミプロ）楽長。

昭和二十三年十月〜同三十二年十



月。豊橋鉄道楽団(音楽部)を育成、
楽長。

昭和二十八年四月、同三十二年三
月。豊橋職場音楽クラブ運営委員会
委員長。

昭和三十一年五月、豊橋市が編成
した東三河観光宣伝キャラバンに豊
鉄楽長(アコーディオン奏者)とし
て参加、長野岐阜県下を巡回。

昭和三十二年十月、松竹映画二等
兵物語のロケ隊(伴淳三郎、花菱ア
チャコ、北上弥太郎、玉川一郎、東
けんじ、関千恵子、伊吹友木子など)
の実演の伴奏を杉本楽団で行う。

昭和三十三年十月、同四十三年二
月。豊鉄スバル楽団を育成、楽長。

昭和四十四年四月、同四十七年十
二月。重度身体障害者による「あし
なえ楽団」を育成。

昭和四十五年四月より、豊橋市養
護老人ホームに。

昭和四十八年六月より、山本病院

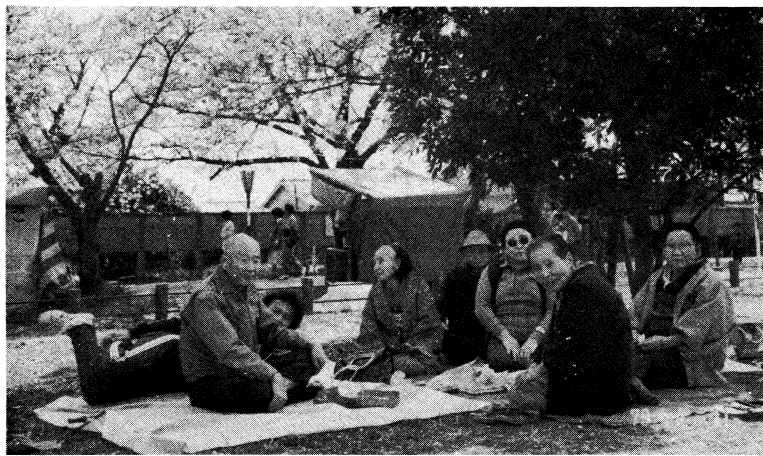
に。
昭和五十二年十一月より、さわら

び荘に。

昭和五十三年六月より、豊橋刑務
支所に。

昭和五十三年十月より、豊橋市特
別養護老人ホームに。それぞれ音楽
指導実施中。

昭和二十三年、同四十九年。東三
河地区の諸社会福祉施設に対し定期
的(約毎月一回)に音楽奉仕(慰問、
指導)を行う。(つづく)



お弁当を広げて楽しくお花見の入居者の皆さん=桜トンネル(豊川市)

へさわらび荘だより

一、桜トンネルでお花見



桜満開の四月九日、十日の両日、
二班に分かれて、豊川市の桜トンネ
ルにお花見に行きました。さすがに
桜の名所とあって、どの木の下も人
でいっぱい。入居者の皆さんも、花
見だんごを口にしながら、楽しく語
らい、桜に囲まれ、楽しい半日を過
しました。

二、創設三周年記念行事

さわらび荘も発足して三年。そこ
で四月七日、集會室において記念行
事を行いました。

まず、浦野施設長よりあいさつが
あり、その後、自治委員会の山本五
三郎さんから入居者を代表して、お
礼の言葉がありました。各入居者の
方々に紅白のお饅頭が配られるなど
ささやかながらも、三周年を記念し
て、皆でお祝いをいたしました。

訪問看護

さわらび荘婦長 大谷 房

Kさん七十三歳、脳卒中発作によ
り右半身麻痺、以後寝たきりのおば
あさん。発作時意識不明で生死が危
ぶまれたそうです。なんとか命をとり
とめたが、寝たきりで自分からはほ
とんど意志表示しないそうです。近
くの医院の先生に週一回往診をして
もらっているそうです。血圧も一五
〇、七四、脈搏七四で特別異常あり
ません。食欲もあり何んでもおいし
く食べられると言ってみえます。

長男のお嫁さんが色々身身の回り
のお世話をしてみえる様です。時々
疲れる様で世話が出来ない時もある
様です。

Kさんは非常に羞恥心の激しい人
で、排尿を教えないばかりか、おむ
つを交換したり衣類を交換すること
もいやがる事もあります。ベッドに
寝たまま尿を漏らすと布団まで汚
してしまいます。

自分から動くこうとしません。「Kさ

ん、おしつこが出たら教えてね。」と言くと「うん」と返事はします。

日中は日のあたる縁側で椅子に腰かけ座位で過します。話は少しでもありますが、会話にならず同じことを繰り返して質問して相手の言葉を真似ますが、理解はできていないようです。麻痺している足をさすりながら「早く歩きたい。」と言ってみえます。

次回訪問する時はリハビリが必要ではないかと思えます。私達が帰ろうとすると一寸淋しそうな顔を見せました。「又来るからね。」と言うとニコニコしてうなづきました。

処遇研究会



さわらび荘生活指導員 川角卓央

Kさんの場合。男七十六歳。静岡県A市より入所。

一、生活歴

四人兄弟の長男として出生。もともと農家だったため、ずっと農業従事。三、四回内縁関係の女性と同居するが、いずれもうまくゆかず失敗、

昭和三十四年隣村より養女を迎える。養女が結婚したが、子供ができずに離婚。又、隣村より養子を迎え、三人暮らしのまま現在に至る。養女一四十七歳、養女の養子一十一歳。

本人は、田五十アール、畑十アールの耕作をし、養女は会社務めをしていたが、五十二年十一月突然倒れ、A市民病院に一カ月程（脳梗塞）入院し、半月程自宅療養してから、さわらび荘に、昭和五十三年一月十二日入荘。

二、入所時初期状況

言葉も、話す内容もしっかりしており、読み書きも可能で、意志の疎通は充分できるが、片麻痺のため、その他の日常動作は全て不能。

態度が横柄で、言葉が命令調、そして非常に頑固で気が強い。同室者を余り気にせず、マイペースの生活をした。

三、生活上の問題点

入所時から、家族、知人、福祉事務所等に手紙を毎日のように書く。

いずれも家に連れて帰ってくれとの内容のものばかり。これは現在まで二年間規則正しく続けられている。

リハビリは入荘後、一年程熱心に行っていたが、その後は意欲が低下。これといった趣味はなく、唯一の楽しみは手紙を書くこと。生き甲斐は孫の成長であり、血はつながっていないが、孫の面会を非常に喜ぶ。とにかく家に帰りたいの一途な気持ちで、時には家族、民生委員、福祉事務所等へ、ここへ入れられたのはお前達のためだ、一生恨んでやる等と訴えている。

四、処遇方針の検討

①さわらび荘での生活の改善—同室者に話し相手になれそうな人を入れ、同時にリハビリ意欲を増すように考え、オムツを取ることを目標とする。

②家族に面会を促し、せめて盆、正月位帰省させるように依頼する。

五、指導経過

①同室者、他の入居者とも中々溶

け込めず、又、リハビリ意欲も低下。全ての事に意欲がなく、元気もない。

②家族の面会も、家族会には出席するが、一カ月に一度来られないことも多く、又、盆と正月の帰省も、様々な理由で家族から拒否される。こうした家族の態度が、本人の精神状態を非常に混乱させているように思えてならなかった。

六、不安の原因

最終的な手段として、民生委員と福祉事務所員に来荘してもらい、本人との面接を行う。その結果、親しかった民生委員と話がはずみ、原因の一部が判明—意欲の低下も孤立も全て家に帰りたいとの願望からであり、その願望も、実は土地の所有権の相続にかかわる不安があるということが解った。

本人が一番心配するのは、残された家族の生活の問題で、家族へしばしば精神的圧迫をかけた、土地は俺のものになる等とおどしをかけていたのは、本人の弟で、本人はこう

した弟の言動を養女から聞き、不安をつのらせていたようである。

そこで、早急に家に帰り、近親者とよく話す事を民生委員に依頼する。後日、養女、近親者が来荘するが、本人の帰省を益まで待ってくれと言われ、本人は大変落胆する。しかし当方の要請で、再度民生委員から養女に頼み、又、養女を来荘させ、依頼した結果、四日間程連れて帰ることを承認された。

七、その後の状況

家へ帰れるということで、本人は非常に喜び、待ちに待っていたが、家に帰った状況は、必ずしも本人にとって良い結果ではなかったようである。あくまで推測であるが、近親者から本人にとって非常にショックな事を言われたか、又、家での生活が、本人の考えていた以上に困難なものだという自覚からくる絶望感からか、以前にも増して元気がなくなつた。

帰荘後、元気がなく、不安定な状況

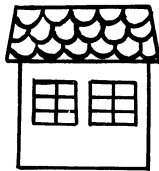
が続き、脳血栓となり、山本病院へ入院となる。

八、反省

このケースは、私達職員の失敗のケースかもしれない。しかし、老人が抱く家庭への期待と依存は、我々の想像以上のものがあり、これが思うように得られない場合、老人にこのような精神異常を起してくることが多い。

入荘時点で、本人の自覚を促し、又、財産管理を明確にし、措置される必要があるうし、我々も家族への働きかけを更に充分行い、施設ケアの老人が家庭に対して抱く期待と願望を、うまくコントロールし、不安を起さないようにしなければならぬ。

追記



院長 山本 孝之

一、脳梗塞発作後僅か二カ月で、リハビリの効果が最もあがる時期にホームに入った割には、リハビリの

効果が充分認められないのは何故でしょうか？

リハビリが効果をあげ、日常生活が可能になれば、本人の希望する通り、家へ帰られる筈なのに。

二、家族、特にお孫さんとの交流を促進すべきです。そのためにも、短期帰省を、月一回定期的に実施すべきではないでしょうか。家族の受入れをよくするためにも、リハビリは重要です。又逆に、短期帰省が本人のリハビリ意欲を盛り上げると思います。

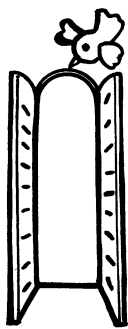
三、老人は、一般に財産への執着が強いことが多いものです。本例でも、家へ帰りがたがる理由として、弟に財産をとられるという不安があるようですが、たとえ血が繋がってなくても、子供さんに財産が相続されるのが当然だし、尚、不安があれば、簡易な方法で遺言状を作成し、その文面に、本人の希望通り財産を養女に譲ることを明記しておけば、安心されると思います。

四、帰省後、すっかり元気がなくなつたとのことですが、単なる推測ではなく、理由を詳しく調べて下さい。

——(調査の結果、本人が最も信頼していた民生委員の方が、帰省直前に事故で急死されたことが判明した。)

五、どうしても、家族との交流や短期帰省が望めないのなら、ホーム内で、生活指導員を中心として職員が、彼を精神的に支持し、受容して、職員が、彼の心の中で、家族に代る存在となるように努めることが第一です。

そしてある程度、職員と打ち溶けて、心が交流するようになった時点で、次に彼が同室者と心を開いた付き合いができるように、本人の横柄な態度や独善的閉鎖的な生活を改めるように指導をして、ホームの中で幸せな生活ができるようにして下さい。



野依福祉村建設資金寄付ご芳名

〔寄付金〕

一、豊橋市

匿名希望

一、豊橋市宮下町一六四

神藤正道氏

一、豊橋市下地町天神二〇

(有)濱作

一、豊橋市東雲町一六二の一

山本孝之氏

一、豊橋市吾妻町一八七

東田老人農園一同 壹萬貳千円

一、豊橋市石巻町東頭七〇

岡本 讓氏

一、豊橋市牟呂町字市場一三七の一

(株)オーエスカダ 貳萬円

一、豊橋市春日町二三

藤本桂市氏 壹萬円

一、豊川市

匿名希望

一、名古屋市

匿名希望

一、豊橋市池見町二九

鹿山文吉氏

壹萬円

本孝之)

一、豊橋市三本木町新三本木八八

西上一成氏

一、豊橋市花中町九六

拾貳萬円

一、春日井市知多町三一三一

長繩江美子氏

現在迄御寄付頂きました金額は、四

千六百六拾萬九千五百八拾九円。

参萬円

〔さわらび日記〕

〈病院〉

3月17日 症例研究会

3月21日 家族会

3月24日 医学講座(脳出血)

3月26日 入社式

3月28日 リハビリ研究会

3月29日 珠藻荘竣工式

3月31日 薬事審議会・特別養護老

人ホーム慰問・医師会当

直医

4月5日 入院患者さんお花見

4月10日 八〇年度早蕨市民大学開

校式・早蕨大学(講師山

本孝之)

4月12日 早蕨編集委員会

4月14日 症例研究会

4月15日 幹部会

〈さわらび荘〉

3月18日 東高校生慰問

3月24日 家族会

3月25日 立正佼成会婦人部慰問

3月28日 入居者自治委員会・処遇

研究会

3月30日 ボランティア講座の方々

(七十名) 訪問

4月3日 入居者自治会総会

4月4日 処遇研究会

4月5日 入居者自治委員会

4月7日 創設三周年記念行事

4月9日 桜トンネル(豊川市)の

お花見(第一班)

4月10日 桜トンネルお花見(第二班)

4月12日 東高校生慰問

〈珠藻荘〉

3月29日 珠藻荘竣工式

4月1日 珠藻荘開所

4月25日現在まで入居者十五名。

5月		1木	2金	3土	4日	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11日	12月	13火	14水	15木	16金	17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金	24土	25日	26月	27火	28水	29木	30金	31土	住 所					
5月 美術案内	ギャラリー朝日	常設展(日本画、洋画、陶器、etc.)																												豊橋市大國町80 55-3301								
	ギャラリーL	庄司 達 展											一体いま何が Part 4							一体いま何が Part 5										市内大橋通3-125 53-0187								
	豊橋市美術博物館	豊橋美術展 (書、写真、デザイン)					豊橋美術展 (日本画、洋画、彫刻、etc.)													愛大美術部展					大久保裕恵個展					市内今橋町3 51-2621								
	豊橋市民文化会館												生花展					婦人ミニ展 盆栽					生花展					シダ水石展					市内向山大池町20 61-5111					
	札木画廊	上野久個展					草月流、早蕨会 小原流、さつき会 合同いけばな展					石井先生人形展										竹尾先生個展					杉田先生個展					市内札木町63 54-5752						
	紅の木画廊												響利満木工芸展										近美中部展					遊墨会展					骨董展					市内札木町107 52-3756
	マツバ画廊	梅澤 弘展 彩					洋画九人展										荒木賀野 来本節子 帽子展					アートサークル 「窓」展					手芸 「グループ輪」展					市内松葉町2 52-8910						
	マツモト画廊	三人展 (水彩、油彩等)					水中写真展										多賀静子 七宝焼小品展					開廊一周年記念 スケッチ展					水野文生個展					市内呉服町11 52-3216						
	隆英堂画廊	高畑郁子展					下村良之介版画展										木田安彦木版画展										駒井哲郎版画展					市内新川町51 54-0727						